

サンプル名

アルコール除菌ジェル

特徴

アルコール80%配合の除菌用ジェルです。
水もタオルもいらない速乾性すりこみ式で、手軽に手・指の消毒ができます。
とろみのあるジェル状なので、こぼれたりとび散らさず誰でも簡単に使えます。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	エタノール (95 度)	40.00
2	サンジェロース 60L ※1	0.90
3	精製水	16.10
4	濃グリセリン	3.00
5	エタノール (95 度)	40.00
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
total		100.00

調製方法

- 1 「No.1~2」を室温でよく混合分散する。〔A相〕
- 2 「No.3~4」を均一にする。〔B相〕
- 3 〔A相〕に〔B相〕に投入し、ホモミキサーを使って十分に攪拌する。〔C相〕
- 4 〔C相〕が透明に溶解したら「No.5」を投入し、均一になるまで攪拌する。
- 5

使用原料

※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】

備考

2010年11月1日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

ビタミンC美容液(VCエチル)

特徴

3-O-エチルアスコルビン酸を1%配合した、ややとろみのある美容液です。
サンジェロースを使用することで、カルボマー等のアクリル樹脂系高分子の使用が困難なpH領域 (pH5以下) でも、透明度が高く、安定な状態を保つことが可能です。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	74.00
2	クエン酸	0.15
3	クエン酸Na	0.20
4	エデト酸二ナトリウム	0.05
5	フェノキシエタノール	0.20
6	グリチルリチン酸ジカリウム	0.10
7	1, 3-ブチレングリコール	10.00
8	サンジェロース 60L ※1	0.30
9	3-O-エチルアスコルビン酸水溶液 (10%)	10.00
10	エタノール (95度)	5.00
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
total		100.00
弱酸性 (pH 4.5 ~ 5.5)		

調製方法

- 「No.1~8」を混合溶解する。〔A相〕
- 「No.9~10」を順次投入し、均一になるまでよく混合する。
-
-
-

使用原料

※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】

備考

2011年12月2日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

ビタミンC美容液(グルコシド)

特徴

安定型ビタミンC誘導体3%配合の美容液です。
 とろみのあるなめらかな使用感の美容液で、肌にすつとなじみます。
 なじませた後は、しっとりとしたうるおいのある肌を保ちます。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	75.00
2	1, 3-ブチレングリコール	10.00
3	メチルパラベン	0.15
4	エチルパラベン	0.02
5	エデト酸四ナトリウム	0.02
6	トリメチルグリシン	0.50
7	トレハロース	0.20
8	グリチルリチン酸ジカリウム	0.10
9	サンジェロース 60L ※1	0.25
10	SENSIVA SC50 JP ※2	0.20
11	精製水	10.00
12	L-アスコルビン酸2-グルコシド	3.00
13	水酸化カリウム(85%)	0.56
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
total		100.00

弱酸性 (pH 5.5 ~ 6.5)

調製方法

- 「No.1~9」を混合溶解する。(A相)
- 「No.11~13」を混合溶解する。(B相)
- (A相)に(B相)を添加し、均一に混合する。
-
-

使用原料

- ※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業株式会社】
 ※2 SENSIVA SC50 JP 【株式会社成和化成】

備考

2009年9月18日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

ボディジェルローション

特徴

肌への伸びがよく、みずみずしいタッチのウォータージェルです。
なじませた後もベタつきがなく、しっとりとしたうるおいのある肌を保ちます。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	75.00
2	トリメチルグリシン	0.10
3	グリチルリチン酸ジカリウム	0.05
4	サンジェローズ 60L ※1	0.40
5	SENSIVA SC50 JP ※2	0.25
6	メチルパラベン	0.10
7	1,3-ブチレングリコール	15.00
8	精製水	9.00
9	ヒアルロン酸ナトリウム	0.10
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
		total 100.00
弱酸性 (pH 5.5 ~ 6.5)		

調製方法

- 「No.1~3」を75°Cで加温溶解する。(A相)
- 「No.4~7」を混合した後、(A相)に投入し、十分攪拌する。
- 40°Cまで冷却後、「No.8~9」を溶解したものを添加し、均一に混ぜ合わせる。
-
-

使用原料

- ※1 サンジェローズ 60L 【大同化成工業 株式会社】
 ※2 SENSIVA SC50 JP 【株式会社 成和化成】

備考

2009年10月22日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

尿素配合ハンドクリーム

特徴

角質を柔軟にする「尿素」を3%配合したハンドクリームです。
 リッチでコクのあるクリームが肌をしっかりと保護し、手を乾燥から守ります。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	41.50
2	グリチルリチン酸ジカリウム	0.10
3	サンジェロース 60L ※1	0.15
4	メチルパラベン	0.15
5	1,3-ブチレングリコール	7.50
6	ワセリン	25.00
7	トリ(カプリル・カプリン酸)グリセリル	5.00
8	NIKKOL ニコムルス LC ※2	5.00
9	ステアリン酸	1.00
10	ステアリン酸グリセリル	0.30
11	メドウエストロイド ※3	0.20
12	NIKKOL SILBLEND - 91 ※4	0.50
13	精製水	0.50
14	水酸化カリウム(8.5%)	0.05
15	精製水	10.00
16	エデト酸四ナトリウム	0.05
17	尿素	3.00
18		
19		
20		
total		100.00

中性 (pH 6.5 ~ 7.5)

調製方法

- 「No.1~2」を75°Cで加温溶解する。(A相)
- 「No.3~5」を混合した後、(A相)に投入し、十分攪拌する。(B相)
- 「No.6~12」を75°Cで加温溶解する。(C相)
- (B相)をホモミキサーで攪拌しながら(C相)を添加し乳化する。
- 「No.13~14」を溶解したものをへ添加し、よく攪拌する。
- 40°Cまで冷却後、「No.15~17」を溶解したものを添加し、均一に混ぜ合わせる。

使用原料

- ※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】
 ※2 NIKKOL ニコムルス LC 【日光ケミカルズ 株式会社】
 ※3 メドウエストロイド 【一丸ファルコス 株式会社】
 ※4 NIKKOL SILBLEND - 91 【日光ケミカルズ 株式会社】

備考

2009年10月22日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

スキンクリーム

特徴

肌への伸びがよく、さらっとした使用感のスキンクリームです。
なじませた後もベタつきがなく、肌をなめらかでうるおいのある状態に保ちます。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	70.00
2	トリメチルグリシン	0.50
3	グリセリン	3.00
4	サンジェロース 60L ※1	0.30
5	メチルパラベン	0.15
6	1,3-ブチレングリコール	10.00
7	スクワラン	10.00
8	NIKKOL ニコムルス LC ※2	2.50
9	ステアリン酸	1.00
10	NIKKOL SILBLEND - 91 ※3	2.00
11	精製水	0.50
12	水酸化カリウム (8.5%)	0.05
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
total		100.00

中性 (pH 6.5 ~ 7.5)

調製方法

- 「No.1~3」を75°Cで加温溶解する。(A相)
- 「No.4~6」を混合した後、(A相)に投入し、十分攪拌する。(B相)
- 「No.7~10」を75°Cで加温溶解する。(C相)
- (B相)をホモミキサーで攪拌しながら(C相)を添加し乳化する。
- 「No.11~12」を溶解したものをへ添加し、よく攪拌した後、40°Cまで冷却する。

使用原料

- ※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】
 ※2 NIKKOL ニコムルス LC 【日光ケミカルズ 株式会社】
 ※3 NIKKOL SILBLEND - 91 【日光ケミカルズ 株式会社】

備考

2010年2月26日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

酸化チタン配合クリーム

特徴

肌への伸びがよく、酸化チタン独特のきしみ感を抑えたスキนครリームです。
水を主成分としたO/W型処方なので、肌にうるおいを与え、なめらかな状態を保ちます。
また、さらっとした使用感でベタつきがないので、化粧下地として使用できます。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	45.97
2	サンジェロース 60L ※1	0.50
3	メチルパラベン	0.20
4	1,3-ブチレングリコール	10.00
5	流動パラフィン(70S)	10.00
6	NIKKOL ニコムルスLC ※2	2.50
7	セタノール	2.00
8	ステアリン酸	1.50
9	NIKKOL SILBLEND-91 ※3	2.00
10	精製水	0.30
11	水酸化カリウム(85%)	0.03
12	ネオサンペール PW-6030A-20	25.00
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
total		100.00

中性 (pH 6.5 ~ 7.5)

調製方法

- 「No.2~4」を混合したものを「No.1」へ加え、75°Cで加温溶解する。(A相)
- 「No.5~9」を75°Cで加温溶解する。(B相)
- (A相)をホモミキサーで攪拌しながら(B相)を添加し乳化する。
- 「No.10~11」を溶解したものをへ添加し、よく攪拌した後、40°Cまで冷却する。
- 「No.12」を投入し、ホモミキサーを使用して均一になるまで攪拌する。

使用原料

- ※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】
 ※2 NIKKOL ニコムルスLC 【日光ケミカルズ 株式会社】
 ※3 NIKKOL SILBLEND-91 【日光ケミカルズ 株式会社】
 ※4 ネオサンペール PW-6030A-20 【日揮触媒化成株式会社】

備考

酸化チタンの配合量：「5.85%」

2010年11月8日

サンプル名

ヘアトリートメント

特徴

毛髪にしなやかさとツヤを与える洗い流すヘアトリートメントです。
リッチでコクのある感触で、乾燥後も髪がバサつかずうるおいが持続します。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	80.00
2	クエン酸	0.10
3	アルギニン	0.20
4	トリメチルグリシン	0.50
5	ヘントリモニウムクロリド (80%)	3.00
6	サンジェロース 60L ※1	0.50
7	メチルパラベン	0.20
8	1, 3-ブチレングリコール	10.00
9	セタノール	3.50
10	シリコーン混合物 (高重合ガムシリコーン約15%)	2.00
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
		total 100.00

中性 (pH 4.0 ~ 5.0)

調製方法

- 「No.1~5」を75°Cで加温溶解する。(A相)
- 「No.6~8」を混合した後、(A相)に投入し、十分攪拌する。(B相)
- 「No.9」を加温溶解後、(B相)をホモミキサーで攪拌しながら添加し乳化する。
- 乳化後、「No.10」添加し、よく攪拌する。
- 40°Cまで冷却する。

使用原料

※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】

備考

2010年2月4日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

ヘアエッセンス①

特徴

毛髪にしなやかさとツヤを与える洗い流さないタイプのヘアエッセンスです。
ベタつかずツルツルとした感触で、髪にうるおいを与え、なめらかな状態を保ちます。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	75.00
2	トリメチルグリシン	0.30
3	濃グリセリン	2.50
4	サンジェロース 60L ※1	0.20
5	1,3-ブチレングリコール	5.00
6	エタノール(95度)	15.00
7	Silsoft EM 202C ※2	2.00
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
		total 100.00

中性 (pH 6.0 ~ 7.0)

調製方法

- 「No.1~3」を室温で溶解する。(A相)
- 「No.4~6」を混合した後、(A相)に投入し、十分攪拌する。(B相)
- 「No.7」添加し、よく攪拌する。
-
-

使用原料

- ※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】
 ※2 Silsoft EM 202C 【モメンティブ・パフォーマンス・マテリアルズ・ジャパン合同会社】

備考

2010年2月4日

ヘアエッセンス②

サンプル名

特徴

毛髪にしなやかさとツヤを与える洗い流さないタイプのヘアエッセンスです。
フィッシュコラーゲンリッチ DBL が、毛髪に対して浸透、保護、修復等のコンディショニング効果を与えることにより、髪にうるおいを与え、なめらかな状態を保ちます。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	65.00
2	サンジェロース 60L ※1	0.50
3	1,3-ブチレングリコール	4.50
4	エタノール(95度)	20.00
5	フィッシュコラーゲンリッチ DBL ※2	10.00
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
		total 100.00
弱酸性 (pH 5.5 ~ 6.5)		

調製方法

- 「No.2~3」を混合した後、「No.1」に投入し、十分攪拌する。(A相)
- 「No.4」、「No.5」を順次添加し、よく攪拌する。
-
-
-

使用原料

- ※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】
 ※2 フィッシュコラーゲンリッチ DBL 【日本化薬フードテクノ株式会社】

備考

2014年10月31日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

クレンジングリキッド

特徴

オイルフリータイプの液状メイク落としです。
適度なとろみがあり、お肌をマッサージするようにメイク落としできます。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	サンジェロース 60L ※1	0.50
2	ジプロピレングリコール	20.00
3	精製水	54.00
4	N-ヤシ脂肪酸アシル-L-アラニンナトリウム液 (30%)	5.00
5	ポリオキシエチレンメチルグルコシド (10E.O.)	10.00
6	ポリオキシエチレン (7) ヤシ脂肪酸グリセリン	10.00
7	10%クエン酸水溶液	0.50
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
		total 100.00

中性 (pH 6.0 ~ 7.0)

調製方法

- 「No.1~3」を75°Cで十分攪拌し、溶解する。〔A相〕
- 「No.4~6」を順次〔A相〕に投入し、均一になるまでよく攪拌する。
- 「No.7」を投入し、よく攪拌する。

使用原料

※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】

備考

2010年7月28日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

クレンジングジェル

特徴

メイクなじみが良く、肌に優しいノンオイルタイプのクレンジングジェルです。
サンジェロースが、水っぽいカルボキシビニルポリマーのゲルに濃厚な粘性を付与し、使用時のメイクなじみをアップさせます。また、Mファインオイル COG-7Mが、洗浄時のヌルつきを抑え、すすぎ残しのない、さっぱりとした洗い上がりが実感できます。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	82.80
2	サンジェロース 60L ※1	0.20
3	1, 3-ブチレングリコール	5.00
4	カルボキシビニルポリマー	0.50
5	精製水	2.25
6	水酸化カリウム (85%)	0.25
7	Mファインオイル COG-7M ※2	5.00
8	ポリオキシプロピレン (14) ジグリセリルエーテル	2.00
9	1, 2-ペンタンジオール	2.00
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
		total 100.00
中性 (pH 6.0 ~ 7.0)		

調製方法

- 「No.1~4」を75°Cで加温溶解する。(A相)
- 「No.5~6」を溶解した後、(A相)に投入し、十分攪拌する。(B相)
- (B相)を冷却し、均一混合した「No.7~9」を投入して攪拌する。
-
-

使用原料

- ※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】
 ※2 Mファインオイル COG-7M 【ミヨシ油脂 株式会社】

備考

2014年10月31日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

ヘアシャンプー①

特徴

キメ細かい泡で頭皮と毛髪をやさしく洗うアミノ酸系のヘアシャンプーです。
洗い流し時の泡切れも良く、髪につるつるとした感触を与えます。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	サンジェロース 60L ※1	0.20
2	1,3-ブチレングリコール	5.00
3	精製水	26.30
4	カチオン化セルロース(ポリクオタニウム-10)	0.30
5	精製水	14.20
6	安息香酸ナトリウム	0.50
7	N-ヤシ油脂肪酸アシル-L-アラニンナトリウム液(30%)	30.00
8	ラウリン酸アミドプロピルベタイン液(30%)	20.00
9	ポリオキシエチレン(7)ヤシ油脂肪酸グリセリン	1.50
10	10%クエン酸水溶液	2.00
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
		total 100.00

中性 (pH 6.0 ~ 7.0)

調製方法

- 「No.1~3」を75°Cで十分攪拌し、加温溶解する。〔A相〕
- 「No.4~6」を溶解した後、〔A相〕に投入し、均一になるまでよく攪拌する。
- 「No.7~8」を順次投入し、均一になるまでよく攪拌する。
- 「No.10」を投入し、均一になるまでよく攪拌した後、30°Cまで冷却する。

使用原料

※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業株式会社】

備考

2010年5月18日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

ヘアシャンプー②

特徴

アミノ酸系洗浄剤を主成分とした、粘性のあるヘアシャンプーです。
サンジェロースを使用することで、脂肪酸アルカノールアミド等の増粘成分を多量に配合することなく増粘することが可能なので、アミノ酸系洗浄剤本来の肌にうるおいを残しながらもさっぱりした洗い上がりのヘアシャンプーが調製可能です。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	1, 3 - ブチレングリコール	5.00
2	サンジェロース 60L ※1	0.80
3	2 - アルキル - N - カルボキシメチル - N - ヒドロキシエチル イミダゾリニウムベタイン (30%)	5.00
4	N - ヤシ油脂肪酸アシル - L - グルタミン酸トリエタノールアミン液(30%)	40.00
5	精製水	43.20
6	エデト酸二ナトリウム	0.10
7	安息香酸ナトリウム	0.50
8	塩化O-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]ヒド ロキシエチルセルロース	0.20
9	濃グリセリン	5.00
10	フェノキシエタノール	0.20
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
total		100.00

弱酸性 (pH 5.5 ~ 6.0)

参考粘度値 (1,500 ~ 2,500 mPa·s)

調製方法

- 「No.1~4」を75°Cで加温溶解する。〔A相〕
- 「No.5~9」を75°Cで加温溶解する。〔B相〕
- 〔A相〕に〔B相〕を加えて均一に溶解するまでよく攪拌する。〔C相〕
- 〔C相〕を30°Cまで冷却する。
-

使用原料

※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】

備考

2013年5月10日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

ヘアシャンプー③

特徴

キメ細かい泡で頭皮と毛髪をやさしく洗うアミノ酸系のヘアシャンプーです。
サンジェロース 及びアンホレックス 35Nが、使用時の泡保持効果を付与し、キメ細かい泡を持続させます。また、フィッシュコラーゲンリッチ DBLが、毛髪に対して浸透、保護、修復等のコンディショニング効果を与えることにより、髪にうるおいを与え、なめらかな状態を保ちます。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	サンジェロース 60L ※1	0.60
2	アンホレックス 35N ※2	10.00
3	N-ヤシ油脂肪酸アシル-L-グルタミン酸トリエタノールアミン液 (30%水溶液)	40.00
4	精製水	46.00
5	エデト酸二ナトリウム	0.10
6	安息香酸ナトリウム	0.50
7	塩化O-[2-ヒドロキシ-3-(トリメチルアンモニオ)プロピル]ヒドロキシエチルセルロース	0.30
8	エタノール (95度)	1.50
9	フィッシュコラーゲンリッチ DBL ※3	1.00
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
total		100.00

弱酸性 (pH 5.5 ~ 6.0)

参考粘度値 (1,500 ~ 2,500 mPa·s)

調製方法

- 1 「No.1~3」を75°Cで加温溶解する。(A相)
- 2 「No.4~7」を75°Cで加温溶解する。(B相)
- 3 (A相)に(B相)を加えて均一に溶解するまでよく攪拌する。(C相)
- 4 (C相)を冷却し、「No.8」、「No.9」を順次投入して攪拌する。
- 5

使用原料

- ※1 サンジェロース 60L【大同化成工業 株式会社】
 ※2 アンホレックス 35N【ミヨシ油脂 株式会社】
 ※3 フィッシュコラーゲンリッチ DBL【日本化薬フードテクノ 株式会社】

備考

2014年10月31日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

アミノ酸系液体洗顔料

特徴

アミノ酸系洗浄剤を主成分とした、とろみのある液体洗顔料です。
サンジェロースを使用することで、両性界面活性剤や脂肪酸アルカノールアミドを多量に配合することなく増粘することが可能なので、アミノ酸系洗浄剤本来の肌にうるおいを残しながらもさっぱりした洗い上がりの洗顔料を調製可能になります。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	35.25
2	エデト酸二ナトリウム	0.10
3	メチルパラベン	0.10
4	フェノキシエタノール	0.75
5	1, 3 - ブチレングリコール	5.00
6	サンジェロース 60L ※1	0.80
7	2 - アルキル - N - カルボキシメチル - N - ヒドロキシエチル イミダゾリニウムベタイン (30%)	3.00
8	N-ヤシ油脂脂肪酸アシル-DL-アラニントリエタノールアミン液 (30%)	50.00
9	クエン酸水溶液 (5.0%)	5.00
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
	total	100.00

中性 (pH 6.5 ~ 7.5)

調製方法

- 「No.1~6」を75°Cで加温溶解する。〔A相〕
- 〔A相〕に「No.7、No8」を加えて均一に溶解するまでよく攪拌する。〔B相〕
- 〔B相〕を攪拌しながら、「No.9」を徐々に添加してよく攪拌する。〔C相〕
- 〔C相〕30°Cまで冷却する。
-

使用原料

※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】

備考

2011年12月2日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

液体せっけんベース

特徴

脂肪酸石けんを主成分とし、サンジェロースでとろみをつけた液体せっけんです。
カリ石けん素地液の増粘によく用いられる両性界面活性剤や脂肪酸アルカノールアミド
を使用していないため、ぬるつきが少なく、さっぱりとした使用感が特徴です。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	精製水	41.10
2	エデト酸四ナトリウム	0.10
3	1, 3 - ブチレングリコール	5.00
4	サンジェロース 60L ※1	0.80
5	カリ石けん素地液 (濃度: 35%)	50.00
6	アルキル (8~16) グルコシド	3.00
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
		total 100.00

アルカリ性 (pH 10.5 ~ 11.5)

調製方法

- 「No.1~4」を75°Cで加温溶解する。(A相)
- (A相)に「No.5、No.6」を加えて均一に溶解するまでよく攪拌する。(B相)
- (B相)を攪拌しながら、30°Cまで冷却する。
-
-

使用原料

※1 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】

備考

2011年6月9日

本資料に記載されている内容は、最終製品における経時的安定性、工業所有権および薬事法に関わる制約をクリアしていることを保証するものではありません。商品化に際しましては、御社にて十分な研究・調査・試験等を実施したうえでご検討ください。

サンプル名

スタイリングフォーム

特徴

スーパーハードなスタイリングフォーム
泡保持性に優れた、弾力のあるモチモチとした泡が特徴のスタイリングフォームです。
エアゾールでの初めての処方です。

処方例

No.	原料 / 成分名	配合量(%)
1	カチナールCTC-70ET ※1	0.30
2	カチナールDC-80K ※2	0.30
3	ミリスチン酸イソプロピル	0.40
4	セタノール	0.40
5	ミネラルオイル	0.20
6	オレイルアルコール	0.20
7	オレスー7	0.70
8	セテスー10	0.70
9	サンジェロース 60L ※3	0.10
10	メチルパラベン	0.10
11	精製水	60.00
11	エタノール	0.50
12	オレスー15	1.50
13	香料	0.10
14	PVP(30%エタノール溶液)	7.00
15	ユカフォーマーR205 ※4	10.00
16	HCポリマー1NS ※5	2.50
17	精製水	10.00
18	SS-2802 ※6	5.00
20		
	total	100.00

調製方法

- 「No.1~8」を80°Cで加温溶解する。(A相)
- 「No.9と10」を(A相)に加え、十分に攪拌する。その後冷却(B相)
- 「No.11~15」を混合し、攪拌して均一とする。(C相)
- (B相)が40°Cとなったら(C相)を投入し、攪拌する。(D相)
- 「No.16」を「No.17」で希釈したものと「No.18」を(D相)に投入し、攪拌する。

使用原料

- ※1 カチナールCTC-70ET 【東邦化学】
- ※2 カチナールDC-80 【東邦化学】
- ※3 サンジェロース 60L 【大同化成工業 株式会社】
- ※4 ユカフォーマーR205 【三菱化学】
- ※5 HCポリマー1NS 【大阪有機化学】
- ※6 SS-2802 【東レ・ダウ】

備考

原液：LPG = 90 : 10

2012年1月20日